
赤 潮 情 報（定期赤潮調査結果）

鹿児島県水産技術開発センター
平成 2 1 年 6 月 3 日

八代海赤潮情報No.1

[1] 6月2日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点において着色域は確認されませんでした。
全体的にキートセラス属等の珪藻類が多い状況でした。
有害種については確認されませんでした。

(2) 海 況

表層水温は八代海全域で20.1～21.1℃で同年同時期より2.6℃低め、塩分は33.1～33.8で同年同時期よりやや高め、透明度は同年同時期よりやや高めとなっています。

水 温（表層）：平均 20.6℃ (23.2℃)
塩 分（表層）：平均 33.7 (31.9)
透明度 : 平均 10.8m (8.8m)

()はH元～H20年6月の平均値（同平年値）

[2] 今後の赤潮発生の予想

前回調査時（5/19）は透明度が非常に高く、珪藻類が少ない状況でしたが、今回調査時は、水温が低く、塩分濃度がやや高め、透明度が同年同時期よりやや高めのレベルになり、珪藻類が多い状況になっています。

現在のところ、キートセラス属等の珪藻類が優先していることから、コクロディニウム等の有害種が増殖しにくい状況と思われます。なお天草市水産研究センターが前日（1日）に行った調査でも、有害種は確認されていません。

今後梅雨に入りますが、昨年同時期にはコクロディニウムが確認されていますので、注意が必要です。

今後とも、定期的な検鏡等により十分な監視を行って下さい。

